１．がん

- 疾患名：慢性骨髄性白血病
- アウトライン：

「48 歳男性。体温 37.3°C。脈拍 84/分、整。血圧 136/76mmHg。左季肋下に脾臓を 3cm 触知する。疲労感と倦怠感あり。微熱、左上腹部膨満感も認められ、検査後、慢性骨髄性白血病と診断。イマチニブで薬物治療開始。 6 か月後、間質性肺炎で捻髪音（音）と下痢の確認後、ステロイドパルス療法開始。疲労感もあり。さらに 2 か月後、正常に生活ができるようになった。」

- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要：48 歳男性。慢性骨髄性白血病と診断され、抗癌剤を使用した薬物療法開始。副作用の確認とその後の治療における薬効の確認を行う。
  - ✓ 学習目標：全身観察や異常な聴診音について理解する。
  - ✓ 名前：宮崎　太郎（みやざき　たろう）
  - ✓ 身長：167 ㎝
  - ✓ 体重： 68 kg
  - ✓

（処方）

グリベック錠 100 mg (注 1)　　1 回 4 錠（1 日 4 錠）
1 日 1 回　朝食後　7 日分

（注 1: イマチニブメシル酸塩錠 100 mg を含む錠剤）

（処方）

ソル・メドロール静注用 1000 mg (注 2)　　1 日 1 回
3 日間　点滴静注

（注 2: メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム 1000 mg を含む注射製剤）

- **高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳**

	A	B	C
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90
P	標準 90	標準 90	標準 90
T	標準 90	標準 90	標準 90
M	標準 90	標準 90	標準 90
前肺音右上	標準 20	捻髪音 60	標準 20
右中	標準 0	捻髪音 60	標準 0
右下	標準 0	捻髪音 60	標準 0
左上	標準 20	捻髪音 60	標準 20
左下	標準 0	捻髪音 60	標準 0
後肺音右上	標準 20	捻髪音 60	標準 20
右下	標準 0	捻髪音 60	標準 0
左上	標準 20	捻髪音 60	標準 20
左下	標準 0	捻髪音 60	標準 0
腸音	標準 50	亢進 50	標準 50
心電図	洞調律	洞調律	洞調律
脈拍(/min)	84 整	88 整	78 整
血圧(mmHg)	136/76	132/72	128/66
呼吸数(/min)	16	22	16
SpO_2(%)	98	92	99
体温(℃)	37.3	38.8	36.8
声（膨満・疲労感：うー）	○	○	
声（咳）		○：10 秒	

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（%）を示している。

2．高血圧症

- 疾患名：本態性高血圧
- アウトライン：

  「65 歳女性。高血圧治療に対するエナラプリルよる空咳の副作用歴あり（呼吸困難を伴う舌、喉頭の腫脹）。以降、テルミサルタンでコントロールするが、1 年後、心房細動を伴う慢性心不全（NYHA 分類 I 度）のため、カルベジロールの追加。2 週間後、この副作用で徐脈が起こる。」
- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要：65 歳女性。高血圧治療に対する副作用歴から薬物変更。副作用の確認とその後の治療における薬効と副作用の確認を行う。
  - ✓ 学習目標：全身観察、心電図変化や脈拍のリズムについて理解する。
  - ✓ 名前：延岡　花子（のべおか　はなこ）
  - ✓ 身長：157 ㎝
  - ✓ 体重： 54 Kg
  - ✓

（処方）

レニベース錠 5 mg (注 1)	1 回 1 錠（1 日 1 錠） 1 日 1 回　朝食後　7 日分

（注 1: エナラプリルマレイン酸塩 5 mg を含む錠剤）

（処方）

ミカルディス錠 40 mg (注 2)	1 回 1 錠（1 日 1 錠） 1 日 1 回　朝食後　7 日分

（注 2: テルミサルタン 40 mg を含む錠剤）

（処方）

ミカルディス錠 40 mg (注 3)	1 回 1 錠（1 日 1 錠） 1 日 1 回　朝食後　7 日分
アーチスト錠 1.25 mg (注 4)	1 回 1 錠（1 日 2 錠） 1 日 2 回　朝・夕食後　7 日分

（注 3: テルミサルタン 40 mg を含む錠剤）
（注 4: カルベジロール 1.25 mg を含む錠剤）

- **高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳**

	A	B	C
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90
P	標準 90	標準 90	標準 90
T	標準 90	標準 90	標準 90
M	標準 90	標準 90	標準 90
前肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右中	標準 0	標準 0	標準 0
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	標準 50	標準 50
心電図	洞調律	心房細動	洞徐脈
脈拍(/min)	76 整	78 整	50 整
血圧(mmHg)	126/68	132/80	98/52
呼吸数(/min)	16	16	14
SpO_2(%)	94	97	97
体温(℃)	36.6	36.7	36.8
その他（舌・咽頭の浮腫）	○		
声（声も出しづらい、水も飲みにく）	○		

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（%）を示している。

３－１．糖尿病

- 疾患名：①Ⅰ型糖尿病（高血糖）
- アウトライン：

  「29 歳女性。1 型糖尿病のため、インスリンを自己注射により使用していた。発熱（感染症の疑い）を契機に 3 日前から全身倦怠感、下痢、嘔吐が始まり、これらの症状に加えて意識障害が出現したため、家族に伴われて救急外来を受診した。アシドーシスにより血液 pH が下がり、クスマウル呼吸が確認。昏睡状態後（閉眼)、インスリン投与にて回復する。」
- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要：29 歳女性。1 型糖尿病のためインスリン自己注射。シックデイによる容態急変で救急外来受診。患者の状態変化と治療における効果の確認を行う。
  - ✓ 学習目標：全身観察、呼吸パターン、脈拍のリズムや血液 pH の変化について理解する。
  - ✓ 名前：吉野　九保子（よしの　くほこ）
  - ✓ 身長：160 ㎝
  - ✓ 体重： 60 Kg
  - ✓

（処方）

ノボラピッド注フレックスタッチ (注 1)	朝食前　10 単位 28 日間　皮下注
ヒューマリン R 注ミリオペン (注 2)	昼食前　6 単位 28 日間　皮下注
ノボラピッド注フレックスタッチ (注 1)	夕食前　8 単位 28 日間　皮下注
ランタス注ソロスター (注 3)	眠前　14 単位 28 日間　皮下注

（注 1: 超速効型インスリンアナログであるインスリンアスパルト（遺伝子組み換え）300 単位/3 mL 注射液/筒）
（注 2: 速効型インスリン注射液であるインスリンヒト（遺伝子組み換え）300 単位/3 mL 注射液/筒）
（注 3: 持続型溶解インスリンアナログであるインスリングラルギン(遺伝子組み換え）300 単位/3 mL 注射液/筒）

（処方）
ヒューマリン R 注 (注 4)　50 単位
生理食塩液　49.5 mL
上記溶解後 1 mL=1 単位となった溶液をシリンジポンプで 0.1 単位/kg/時にて持続静注
（体重 50 kg の場合は 5 mL/時）
（注 4: 速効型インスリン注射液であるインスリンヒト（遺伝子組み換え）100 単位/mL/バイアル）

メイロン 84 注 (注 5)　必要量
（必要量（mL）は（目標 HCO_3-測定 HCO_3）×体重（kg）×0.2）
（注 5: 炭酸水素ナトリウム注(8.4%)を含む注射液で 1 mEq/mL となっている）

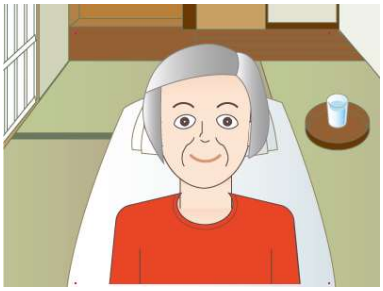
- **高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳**

	A	B	C
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90
P	標準 90	標準 90	標準 90
T	標準 90	標準 90	標準 90
M	標準 90	標準 90	標準 90
前肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右中	標準 0	標準 0	標準 0
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	亢進 60	標準 50
心電図	洞調律	洞頻脈	洞調律
脈拍(/min)	64 整	102 整	62 整
血圧(mmHg)	121/60	92/40	121/60
呼吸数(/min)	12	6	12
SpO_2(%)	98	95	98
体温(℃)	37.3	37.2	36.6
その他（痙攣）		○	
その他（pH）	7.45	6.97	7.45
その他（閉眼）		○	
声（下痢で。お腹が痛い）	○		
声（クスマウル呼吸）単独		○	

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（%）を示している。

３－２．糖尿病

- 疾患名：②Ⅱ型糖尿病（スルホニル尿素薬服用後の食事なしによる低血糖）
- アウトライン：

  「65 歳女性。患者は 5 年前から高血圧症と糖尿病で治療中。カルシウム拮抗薬、利尿薬、スルホニル尿素薬およびビグアナイド薬を内服中。動悸を訴え、冷汗がみられる。立ち上がろうとしたときに転倒し、痙攣のため救急搬送。今朝、通常通りにスルホニル尿素薬を服用したにも関わらず、朝食を抜いて 3 時間後に低血糖となったと思われる。体温下降、頻脈、意識レベルの低下（閉眼）、振戦（痙攣）や頭痛などの低血糖症状を再現する。ブドウ糖、フルスルチアミン、ヒドロコルチゾン、グルカゴンなどの投与により 12 時間後に回復。」
- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要：65 歳女性。高血圧症と糖尿病で治療中。薬物服用後、朝食を摂るタイミングを逃し、容態急変で救急搬送。患者の状態変化と治療における効果の確認を行う。
  - ✓ 学習目標：全身観察や脈拍のリズムについて理解する。
  - ✓ 名前：高千穂　峰子（たかちほ　みねこ）
  - ✓ 身長：155 ㎝
  - ✓ 体重：　62 Kg
  - ✓ 

（処方）

ノルバスク錠 2.5 mg (注 1)	1 回 1 錠（1 日 1 錠） 1 日 1 回　朝食後　7 日分
ラシックス錠 20 mg (注 2)	1 回 1 錠（1 日 1 錠） 1 日 1 回　食後　7 日分
グリミクロン HA 錠 20 mg (注 3)	1 回 1 錠（1 日 1 錠） 1 日 1 回　朝食後　7 日分
メトグルコ錠 250 mg (注 4)	1 回 1 錠（1 日 2 錠） 1 日 2 回　朝・夕食後　7 日分

（注 1: アムロジピンベシル酸塩 2.5 mg を含む錠剤）
（注 2: フロセミド 20 mg を含む錠剤）
（注 3: グリクラジド 20 mg を含む錠剤）
（注 4: メトホルミン塩酸塩 250 mg を含む錠剤）

（処方）

50％ブドウ糖 20 mL	静注
アリナミン F 注 100 mg (注 5)	静注
サクシゾン注 100 mg (注 6)	静注
グルカゴン G 注 1 mg (注 7)	筋注

（注 5: フルスルチアミンとして 25mg を含む注射液）
（注 6: ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 100 mg を含む注射剤）
（注 7: グルカゴン(遺伝子組換え)1 mg を含む注射剤）

● **高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳**

	A	B	C
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90
P	標準 90	標準 90	標準 90
T	標準 90	標準 90	標準 90
M	標準 90	標準 90	標準 90
前肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右中	標準 0	標準 0	標準 0
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	標準 50	標準 50
心電図	洞調律	洞頻脈	洞調律
脈拍(/min)	80 整	104 整	90 整
血圧(mmHg)	133/65	79/44	133/65
呼吸数(/min)	14	16	14
SpO_2(%)	94	84	97
体温(℃)	36.2	35.6	36.2
その他（閉眼・痙攣）		○	
その他（チアノーゼ・冷汗）		○	
声（動悸がします）	○		

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（％）を示している。

4．心疾患

- 疾患名：うっ血性心不全
- アウトライン：

「54 歳女性。高血圧及びうっ血性心不全のためIII音ギャロップの聴取、さらに肺水腫の併発により水泡音が確認。手足の冷感、息苦しさも確認されることからジゴキシン、ニトログリセリン、トラセミドとリシノプリルにて治療開始。2 年後、まれに心房細動がみられるが、状態は安定していた。しかし、1 週間後に鼻水が出て喉が痛いなど風邪気味のためクラリスロマイシンが投与されていた。その結果、食欲不振と吐き気を訴え受診し、緊急入院となった。徐脈に加え二段脈、多源性心室性期外収縮（脈）も確認された。ジゴキシンの血中濃度を測定したところ、2.2 ng/mL であった。」

- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要:54 歳女性。高血圧及びうっ血性心不全のため薬物療法開始。感冒症状により抗生物質の服用後、体調不良を訴え緊急入院。薬物相互作用による容態変化の確認を行う。
  - ✓ 学習目標：心電図変化、脈拍のリズム、異常な聴診音、最適血中濃度や中毒症状について理解する。
  - ✓ 名前：日向　照子（ひなた　てるこ）
  - ✓ 身長：155 ㎝
  - ✓ 体重： 52 Kg
  - ✓

（処方）

ジゴキシン錠 0.25 mg	1 回 1 錠（1 日 1 錠）
ゼストリル錠 10 mg (注 1)	1 回 1 錠（1 日 1 錠）
ルプラック錠 4 mg (注 2)	1 回 1 錠（1 日 1 錠）
	1 日 1 回　朝食後　7 日分
ミリステープ 5 mg 貼付剤 (注 3)	全 14 枚
	1 日 2 回貼付　12 時間毎　1 回 1 枚

7 日分

（注 1: リシノプリル 10 mg を含む錠剤）
（注 2: トラセミド 4 mg を含む錠剤）
（注 3 ニトログリセリン 5 mg を含む経皮吸収型製剤）

（処方）

クラリス錠 200 mg (注 4)	1 回 1 錠（1 日 2 錠） 1 日 2 回　朝・夕食後　7 日分

（注 4: クラリスロマイシン 200 mg を含む錠剤）

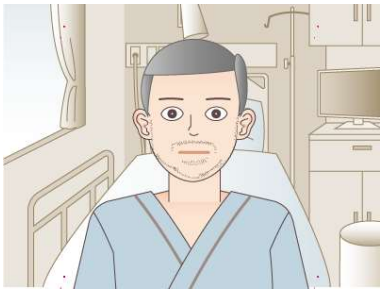
● 高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳

	A	B	C
心音 A	標準 90	心房細動 90	期外収縮 90
P	標準 90	心房細動 90	期外収縮 90
T	標準 90	心房細動 90	期外収縮 90
M	ギャロップ 90	心房細動 90	期外収縮 90
前肺音右上	荒い水泡音 30	標準 20	標準 20
右中	荒い水泡音 30	標準 0	標準 0
右下	荒い水泡音 30	標準 0	標準 0
左上	荒い水泡音 30	標準 20	標準 20
左下	荒い水泡音 30	標準 0	標準 0
後肺音右上	荒い水泡音 30	標準 20	標準 20
右下	荒い水泡音 30	標準 0	標準 0
左上	荒い水泡音 30	標準 20	標準 20
左下	荒い水泡音 30	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	標準 50	標準 50
心電図	洞調律（III 音）	心房細動	II 度房室ブロック 1 型ユニフォーカル PVC
脈拍(/min)	102 整	92 不整（ﾊﾞﾗﾊﾞﾗ）	48 不整（二段脈）
血圧(mmHg)	142/92	118/68	122/55
呼吸数(/min)	16	16	18
SpO_2(%)	86	98	97
体温(℃)	36.3	36.2	36.4
その他（チアノーゼ）	○		
声（息苦しい・手足冷感）	○		
声（鼻水・咽頭痛）		○	
声（食欲不振・吐き気）			○

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（%）を示している。

5．脳血管障害

- 疾患名：脳内出血（クモ膜下出血）
- アウトライン：

  「55 歳男性。高血圧のためバルサルタンによる薬物治療を受けるが、ノンコンプライアンスにより突然の頭痛、意識障害。救急搬送の結果、脳内出血。徐脈、高血圧、瞳孔は左右不同が確認される。また、状態悪化に陥った際、不整脈が出現し、心停止、救命対応が必要となる。」
- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要：55 歳男性。高血圧のため薬物治療を受けているが、ノンコンプライアンスによる容態急変のため救急搬送。患者の容態変化と治療における効果の確認を行う。また、心停止ケースに陥った際には、救命対応を実施する。
  - ✓ 学習目標：全身観察、瞳孔反射や脈拍のリズム、また救命対応について理解する。
  - ✓ 名前：徳永　仁志（とくなが　ひとし）
  - ✓ 身長：170 ㎝
  - ✓ 体重：80 キロ
  - ✓ 

（処方）

ディオバン錠 80 mg (注 1)	1 回 1 錠（1 日 1 錠） 1 日 1 回　朝食後　7 日分

（注 1: バルサルタン 80 mg を含む錠剤）

（処方）

ペルジピン注射液 25 mg (注 2)	0.5 μg/kg/分　点滴静注
グリセオール注 200 mL (注 3)	1 本　1 時間で点滴静注 1 日 4 回

（注 2: ニカルジピン塩酸塩 25 mg を含む注射液）
（注 3: 濃グリセリン 20 g と果糖 10 g の配合注射液）

- **高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳**

	A	B	C	D	E	F
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90
P	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90
T	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90
M	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90	標準 90
前肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20
右中	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0
右下	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20
右下	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	標準 50	標準 50	標準 50	標準 50	標準 50
心電図	洞調律	洞徐脈	洞調律	脈あり心室頻拍/無	心室細動/心静止	洞調律
脈拍(/min)	68 整	38 整	76 整	180 整	-	40 整
血圧(mmHg)	166/92	199/108	119/56	60/30	-	60/40
呼吸数(/min)	16	24	18	6	-	8
SpO_2(%)	99	97	98	80	-	75
体温(℃)	36.5	35.8	36.2	35.4	35.4	35.9
その他（痙攣）		○				
声（悲鳴を伴った頭痛・嘔吐）		○				
その他（瞳孔左右不同）		○				
チアノーゼ				○	○	
閉眼				△	○	

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（%）を示している。

6．精神神経疾患

- 疾患名：てんかん
- アウトライン：

  「10 歳男児。てんかんのためフェノバルビタールを服用していた。半年後、傾眠傾向、羽ばたき振戦などがたまに見られ、コントロールが難しくなったため、クロバザムの追加。クロバザム服用後、傾眠傾向にあり、２週間後、眼振、意識障害をきたした。血清中濃度（治療域 15-30μg/mL）を測定したところ 40μg/mL であり、治療有効濃度を超えていた。炭酸水素ナトリウム投与により尿のアルカリ化、利尿剤投与により、翌日には意識障害は回復した。」
- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要：10 歳男児。てんかんのため薬物治療を受けているが、コントロールが難しくなったため、多剤追加。薬物相互作用による容態変化の確認を行う。
  - ✓ 学習目標：全身観察、最適血中濃度および中毒症状について理解する。
  - ✓ 名前：後藤　しむま（ごとう　しむま）
  - ✓ 身長：136 ㎝
  - ✓ 体重： 30 Kg
  - ✓

（処方）
フェノバール散 10％ (注 1)　1 回 5 mg（1 日 20 mg）〔成分量〕
1 日 4 回　朝・昼・夕食後　眠前　7 日分
（注 1: フェノバルビタール 100 mg/g〔製剤量〕を含む散剤）

フェノバール散 10％ (注 1)　1 回 5 mg（1 日 20 mg）〔成分量〕
1 日 4 回　朝・昼・夕食後　眠前　7 日分
マイスタン細粒 1％ (注 2)　1 回 2 mg（1 日 6 mg）〔成分量〕
1 日 3 回　朝・昼・夕食後　7 日分
（注 2: クロバザム 10 mg/g〔製剤量〕を含む細粒）

（処方）
メイロン静注 7％20 mL (注 3)　1 回 12 mEq（本剤 14 mL）　点滴静注
ラシックス注 20 mg (注 4)　1 回 10 mg（本剤 1 mL）　静注
（注 3: 炭酸水素ナトリウム 1.4 g/20 mL を含む注射液）
（注 4: フロセミド 20 mg/2 mL を含む注射液）

- **高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳**

	A	B	C
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90
P	標準 90	標準 90	標準 90
T	標準 90	標準 90	標準 90
M	標準 90	標準 90	標準 90
前肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右中	標準 0	標準 0	標準 0
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	標準 50	標準 50
心電図	洞調律	洞調律	洞調律
脈拍(/min)	80 整	90 整	76 整
血圧(mmHg)	120/58	124/64	116/52
呼吸数(/min)	18	20	18
SpO_2(%)	99	98	99
体温(℃)	36.2	36.0	36.2
その他（半目）	○		
その他（羽ばたき振戦）	○		
その他（眼振）		○	
その他（意識障害）		○	

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（%）を示している。

7．免疫・アレルギー疾患

- 疾患名：アナフィラキシーショック
- アウトライン：

「10 歳女児。患者は膿皮症治療のために、アモキシシリンが投与された。アモキシシリン内服により、脈拍上昇、血圧低下、体温上昇をきたし、深い呼吸となり、喘鳴音が確認される。その後、さらに血圧低下、SpO_2も低下し、体温上昇、チアノーゼが確認されアナフィラキシーショックとなった。そこで、アドレナリンを投与することにより、一過性の脈拍上昇、血圧上昇をきたしたが、その後、回復となった。6 年後、患者は A 群溶連菌咽頭炎の診断を受けた。ペニシリンアレルギーがあることから、エリスロマイシンラクトビオン酸塩注射液が処方された。しかしながら、エリスロマイシンの急速静注が行われ、30 分後に心室頻拍が発現する。」

- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要：10 歳女児。膿皮症治療のための抗生物質投与によるショック経験あり。A 群溶連菌咽頭炎の診断を受け、不適切な薬物投与法により患者急変。容態変化の確認を行う。
  - ✓ 学習目標：全身観察、異常な聴診音、心電図変化や脈拍の変化について理解する。
  - ✓ 名前：降旗　レルダ（ふりはた　れるだ）
  - ✓ 身長：137 ㎝
  - ✓ 体重：　30 Kg
  - ✓

（処方）
サワシリン細粒 10％ (注 1)　　1 回 200 mg（1 日 600 mg）〔成分量〕
　　1 日 3 回　朝・昼・夕食後　4 日分
（注 1: アモキシシリン水和物 100 mg/g〔製剤量〕を含む細粒）

（処方）
エピペン注射液 0.15 mg (注 2)　　1 本

1 回 1 注入　筋注
（注 2: 1 注入でアドレナリン 0.15 mg を投与できる自己注射用製剤）

（処方）

エリスロシン点滴静注用 500 mg (注 3)	1 回 250 mg（1 日 500 mg）
注射用水 20 mL	1 本
生理食塩水 100 mL	2 本
	1 日 2 回　点滴静注（1 回 2 時間以上かけて）

（注 3: エリスロマイシンラクトビオン酸塩をエリスロマイシンとして 500mg 含む注射剤）

● **高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳**

	A	B	C	D
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90	心室頻拍 90
P	標準 90	標準 90	標準 90	心室頻拍 90
T	標準 90	標準 90	標準 90	心室頻拍 90
M	標準 90	標準 90	標準 90	心室頻拍 90
前肺音右上	標準 20	笛様音 50	標準 20	標準 20
右中	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
右下	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
左上	標準 20	笛様音 50	標準 20	標準 20
左下	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	笛様音 50	標準 20	標準 20
右下	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
左上	標準 20	笛様音 50	標準 20	標準 20
左下	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	標準 50	標準 50	標準 50
心電図	洞調律	洞頻脈	洞調律	心室頻拍
脈拍(/min)	71 整	118 整	90 整	124 整
血圧(mmHg)	114/51	69/32	112/60	132/78
呼吸数(/min)	12	24	16	18
SpO_2(%)	99	86	97	96
体温(℃)	36.5	38.5	37.8	36.5
その他（咽頭浮腫）		○		
その他（舌の浮腫）		○		
その他（チアノーゼ）		○		

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（%）を示している。

8．感染症

- 疾患名：尿路感染症
- アウトライン：

「23 歳女性。突然の高熱（38.4°C）、排尿時痛、腰背部痛が見られ、腎盂腎炎の疑い。レボフロキサシン投与翌日には解熱（37.2°C）したが、動悸が出現。話を伺うと過去に QT 延長の経験があることから、急遽レボフロキサシン中止しセフカペンピボキシルに変更された。3 日後、検査結果が判明し大腸菌感染による腎盂腎炎と確定診断。しかしながら、同時に下痢を生じたためミヤ BM 細粒を追加し、翌日から下痢もおさまった。」

- LLEAP 情報：
  - ✓ 受講者への概要：23 歳女性。腎盂腎炎の疑い。抗生物質投与後、動悸出現し既往歴より内服薬を変更。それに伴い下痢を生じたため整腸剤を追加。患者の状態変化と治療における効果の確認を行う。
  - ✓ 学習目標：全身観察、異常な聴診音、アレルギー反応について理解する。
  - ✓ 名前：熊野　小道（くまの　こみち）
  - ✓ 身長：165 ㎝
  - ✓ 体重： 46 Kg
  - ✓

（処方）
クラビット錠 500 mg (注 1)　　1 回 1 錠（1 日 1 錠）
1 日 1 回　朝食後　7 日分

（処方）
フロモックス錠 100 mg (注 2)　　1 回 1 錠（1 日 3 錠）
1 日 3 回　朝・昼・夕食後　7 日分

（処方）
ミヤ BM 細粒 (注 3)　　1 回 1 g（1 日 3 g）
1 日 3 回　朝・昼・夕食後　7 日分

（注 1: レボフロキサシン 500 mg を含む錠剤）
（注 2: セフカペンピボキシル塩酸塩水和物 100 mg を含む錠剤）
（注 3: 宮入菌（酪酸菌）末 40mg/g を含む整腸剤）

- **高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳**

	A	B	C
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90
P	標準 90	標準 90	標準 90
T	標準 90	標準 90	標準 90
M	標準 90	標準 90	標準 90
前肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右中	標準 0	標準 0	標準 0
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	標準 20	標準 20
右下	標準 0	標準 0	標準 0
左上	標準 20	標準 20	標準 20
左下	標準 0	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	亢進 60	標準 50
心電図	洞頻脈	洞調律	洞調律
脈拍(/min)	100 整	82 整	76 整
血圧(mmHg)	118/68	116/66	114/64
呼吸数(/min)	20	18	16
SpO_2(%)	97	98	99
体温(℃)	38.4	37.2	36.8
声（腰背部痛）	○		
声（動悸）		○	

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量（%）を示している。